

教授 澤邊 みさ子 (Misako Sawabe)

研究シーズ

【社会福祉】

専門

社会福祉（障害福祉）/障害者雇用・就労/
ニュージーランドの障害者政策

研究キーワード

障害者雇用/福祉的就労/障害者年金
ユニバーサルデザイン/バリアフリー



研究テーマ

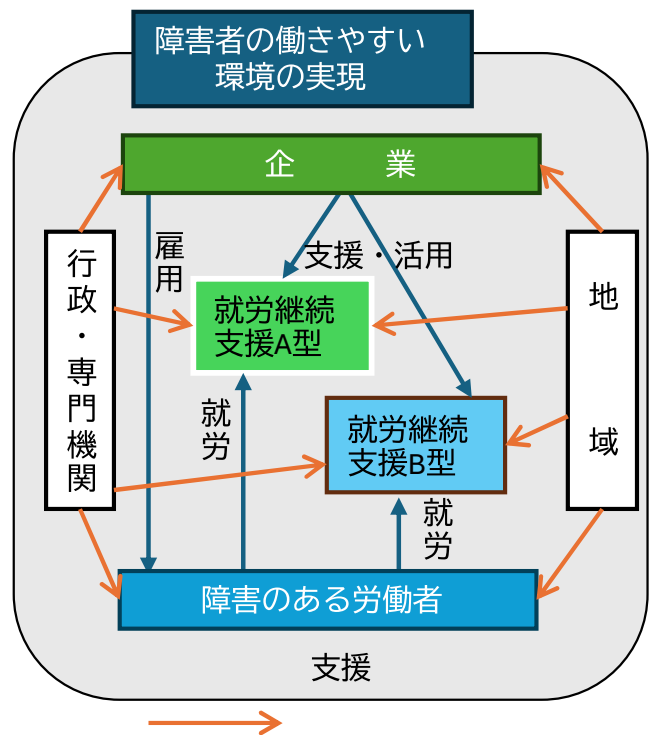
地域の特性を活かした障害者の「働く」ことの支援
—障害者雇用と福祉的就労の両面から—

研究の概要

誰にとっても自分の能力を十分に発揮して働き、それにより収入を得、また社会に貢献していると感じられることは重要なことです。また、労働力不足が問題となる中で、適切な支援と障害・障害者の理解の深まりによって障害のある人たちが有力な働き手となることは、障害者だけでなく企業にとっても意味があります。

本研究では、特に地方に多い中小企業が障害者の雇用を進めていくためには、どのような施策が有効なのかを、事例研究を基に検討します。また、障害者就労継続支援B型事業の現状と質的向上（工賃の向上、「働き甲斐」の実感等）の方策も検討します。

別なものと考えられがちな障害者雇用と福祉的就労を包括的に捉え、地域における障害者の「働く」ことを進めていくためにはどうすればよいかを考えます。



セールスポイント

障害者雇用・就労支援の施策だけでなく事例についてもフォローしています。また日本だけでなく、海外（ニュージーランドやヨーロッパ、アメリカなど）の障害者雇用・就労支援についての研究実績もあります。障害者の社会参加の実現と企業のダイバーシティの促進のために、障害者の「働く」ことの支援はますます求められています。、一般雇用と福祉的就労の両面からこの課題の解決に向けた方策について、研究の成果を提供します。

想定される用途・応用例・活用例

- ・企業規模や地域特性を踏まえた障害者雇用を進めるための事例の紹介
- ・福祉的就労の質・量の向上に向けた方策の検討
- ・障害者雇用・就労支援に関する研修の実施